学校番号	１０６

平成３１年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・Ⅱの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
・各自が主体的に活動内容を決めて、大きなサイズの作品を制作します。
・作品を表装して校内に展示することで、達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	作品制作	・漢字・仮名の古典の中から、選択し、半切サイズに臨書 作品制作 相互鑑賞会	○	○			a:これまでの学習を踏まえ、多様な表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:古典の特徴を理解し、美や美を構成する背景を感受しながら、表現を工夫している。 c:古典の表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解し、古典のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
2学期	創作作品制作	・漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・小字数・篆刻・刻字の中から選択 作品制作(半切サイズ) 相互鑑賞会	○	○		○	a:これまでの学習を踏まえ、創造的な作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
3学期	表装と展示	・表装と展示 鑑賞会	○		○		a:表装の効果や技法について関心を持ち、主体性をもって意欲的に取り組もうとしている。 b:表装の効用を理解し、工夫している。 c:表装の効果的な技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。